



身近な花木 再発見! / 杉並工業高校のフジ
 みどり探訪 / 春日神社界限
 緑の歳時記 / マツバウンラン
 みどりの窓 / 「みどりの活動賞」報告
 (仮称)荻外荘公園暫定開放
 特集 / 「みどりのイベント2015」開催
 園芸ワンポイント / 球根類の花後の管理と植付け

身近な花木 再発見!

杉並工業高校のフジ

杉並の北西部、練馬区と境を接している上井草地区は、公園や屋敷林などが点在する緑豊かな地域です。都立杉並工業高校は、この上井草の一角に昭和38年に開校されました。ここに知る人ぞ知る花の名所があるのです。

40年代に入り、校内の設備を整えていく中で、グラウンドの日除けとして、ブドウがいいか、フジがいいかの議論のすえ、南側のフェンスに沿って十数株のフジが植えられました。

それから50年近い時を経て、いまや巨大なグリーンカーテンに成長したフジは、グラウンドに日陰をつくり、活動する高校生達を夏の日差しから守っています。そして、また毎年春の終わる頃には、細い遊歩道に沿ったフェンス一面をみごとな花の波で飾ってくれる素敵なフラワーカーテンになるのです。

ぜひ来年は、花の時期にここを訪ねてみてください。切通し公園を抜けて見上げた先に広がる光景、まるで山野に自生しているようなダイナミックで野趣あふれるフジの姿にきっと驚かれることでしょう。



春日神社界隈

杉 並区宮前三丁目の五日市街道に面した大宮前春日神社は、江戸時代初期、大宮前新田（現在の宮前地区）を開いた井口八郎右衛門の勧請によって、隣接する慈宏寺とともに創建されました。現在も地域の鎮守として信仰を集め、平日も多くの参拝者が訪れています。

境内はあまり広くはありませんが、鳥居を入ってすぐ左手には大きなカヤの御神木が、奥の社殿の前にはサワラ、広場中央にはムクノキやケヤキ、そして周囲にはイチヨウ、クスノキなどの古木が高さを競うようにそびえ、風にゆれるイロハモミジなど、豊かな緑が大きな木陰をつくっています。

この歴史を感じさせてくれる、静かで落ち着いた雰囲気醸し出す樹木は、地域の人々や氏子さんたちの協力によって守られてきました。

秋にはイチヨウから採れるたくさんの銀杏を、熱心な氏子さんたちによって約1000個の袋に詰められ、毎年

宮前公園の竹林▶

元日に参拝へ来られた方々に配られるとのこと。

隣接する慈宏寺には、イヌマキの巨木をはじめ、タラヨウ、ユリノキなどが繁り、厳かな森を成しています。

また、春日神社の周辺を少し歩くと、閑静な住宅街が広がっています。その右脇の道を進んでいくと、宮前中学校のサクラや生垣の美しい緑、その北側には宮前公園のさわやかな深緑の林が迎えてくれます。

宮前公園にはアカマツ、ムクロジなどの高木のほか、ソメイヨシノ、ウメ、ミズキが見られ、奥には竹林もあり、聴覚をテーマとした「みみのオアシス」が設けられています。四季折々が楽しめるようにイロハモミジなどの木々も多く植えられ、秋の彩りも楽しい地域の人々の憩いの場となっています。

このように緑に包まれた落ち着いた場所が、京王井の頭線富士見ヶ丘駅から徒歩10分ほどのところにあります。時には足をのばして、「みどり」と会話、してみませんか。



1



2



3



4



- 1 境内の巨木群
- 2 御神木・カヤの大木
- 3 春日神社本殿
- 4 界隈の風景・宮前中

緑の歳時記

区内でよく見かける帰化植物

マツバウンラン (松葉雲蘭)

オオバコ科 / 北アメリカ原産の越年生草本

茎 は細く、基部で分岐して高さ50cmほどになります。また、基部からランナー（※1）を伸ばして分株を作ります。

葉は線形で初めはロゼット状（※2）ですが、後に互生します。

春から初夏にかけて直径1cmくらいの紫色の小花を穂状につけます。1941年に京都市伏見区で初めて採集されました。

現在では関東、北陸地方以西に普通に見られるようになりました。区内でも道端や墓地、芝生でよく見ることができます。

葉がマツの葉に似て、花が小形のランを連想して名が付けられたと思われます。



※1 ランナー（走出枝）

親株から伸びて子株になる、地表をはうように伸びる枝の一種

※2 ロゼット

地面に葉が広がって立ち上がっていない、放射状に見える形

杉並区みどりの顕彰



みどりの活動賞



昨年度、日々区内でみどりの保全・創出活動に携わっているボランティア団体について、多くの方々から杉並区みどりの顕彰「みどりの活動賞」に応募いただきました。

その中から区民投票と審査会を経て、以下のとおり14団体を「みどりの活動賞」表彰団体として選びました。みどりのイベント2015（5頁参照）で表彰式を行いました。このような素晴らしい団体をリーフレットでも紹介しています。応募された団体以外にも、皆さんのお近くでみどりに関する活動をされている方がいると思います。ぜひ一度のぞいてみてください。

みどりの活動大賞

落ち葉ネット・杉並



活動目的

みどりのリサイクル（落ち葉や剪定枝を土に還すことや有効活用して自然の循環系に組入れること）を自ら実践するとともに、みどりのリサイクル活動を広げる企画・支援・啓発活動を行います。

活動内容

月1回程度、公園や施設での腐葉土づくりをするほか、落葉の季節には落ち葉集めを行っています。また、学校で腐葉土づくりの指導・支援を要請に応じて行っています。



柏の宮公園 自然の会



活動目的

①様々な人が身近な自然にふれ、遊び、学び、親しみながら環境について考えられる場を地域や行政とともに育てます。②柏の宮公園の貴重な里山的自然環境を保全し、そこに生息する動植物を保護します。③近隣環境の立地特性に応じて、より豊かな自然環境・ビオトープを創出します。

活動内容

定例会、田んぼ作業、植生管理作業、花咲かせ隊作業、水辺管理作業の他、各種イベントや必要に応じての臨時作業を適時行っています。



高南宝扇会



活動目的

桃園川緑道や公園等に一年中きれいに花を咲かせることで、地域の環境美化だけではなく、近隣の住民同士のつながりを大切にし、「防犯」にもつながります。

活動内容

年3回（春・夏・冬）、桃園川緑道、高南幼児公園、地元建設会社の花壇への花の植付けをし、水やりや除草などの花壇の手入れを行っています。また、パトロールを兼ねた公園や緑道の清掃もしています。



自然観察の会・杉並



活動目的

自然観察会などを開催して、区民が自然への関心と理解を深めるとともに、みどりの保全・育成の気持ちがさらに育つような支援活動を行います。

活動内容

区民引率の自然観察会を年に5～6回、区内・区外で実施しています。自然観察会は会員が企画・運営を行い、毎回30～60名の区民が応募・参加しています。また、会員の勉強観察会も年に数回実施しています。



まちづくり上井草



活動目的

雑木の株立ちによる修景・グリーンベルトをつくります。

活動内容

「かみいぐさ雑木みちプロジェクト」の推進等を行っています。毎月1回の定例ミーティングや年1～2回「かみいぐさ坂市」の開催、商店街の植栽手入れ、水やり、「井草中学校雑木みち」の剪定、草取り、水やりなどを行っています。



みどりの活動賞

遊び場90番 花咲かせ隊 ぼたんA

活動目的

水道局の花いっぱい運動に協力し、水道局の玄関に四季の花を植えます。

活動内容

地域の方や水道局職員と一緒に年2回、水道局玄関のプランターに花を植栽し、来場者や通行人に癒しを与えています。6月の花の植付けは水道局のイベントとして、10月の植付けは職員と花咲かせ隊で行っています。



井草・水とみどり支援隊

活動目的

井草～荻窪周辺地域のピオトープの「水とみどり」を保全、維持管理するとともにその場所を利用して地域住民のふれあい活動ができるように支援していきます。

活動内容

区民センターやあんさんぶる荻窪などのピオトープの草取り、樹木・草木の手入れ及び池水の管理を毎月1回しています。



杉並区立和泉中学校教職員・生徒と学校支援本部環境等サポーター

活動目的

プランターに花を植え、学校と地域に配布し、花に囲まれた学校にします。また、町内や井の頭通り沿いにもプランターを配置し、美しいまちづくりをします。

活動内容

年2回、中学校教職員と生徒が参加して花を植えています。プランターの水やりや花がら摘みは配置先にお住まいの方に協力していただき、サポーターは随時見回りながら支援しています。



杉並野草の会

活動目的

野草を中心とした植物の勉強を通じて自然に親しみ、その保護と回復に力を尽くします。

活動内容

野草の観察会や講習会を実施して研さんに努めるとともに、会報を毎月発行して、会員相互の交流と情報交換を図っています。また、会員が育てた野草の展示会を年1回開催しています。



天沼弁天池公園 公園育て組

活動目的

住民の皆さんが四季の移ろいを楽しみ、くつろぐとともに、自然あふれた親しみのもてる公園にします。

活動内容

清掃、草取り、落ち葉掃き、剪定、小川・池の掃除、腐葉土づくり、花壇の手入れ、水やりを行っています。



大宮前児童遊園 花咲かせ隊 たんぽぽ1班・2班

活動目的

近所の公園の花壇に季節ごとの花を咲かせます。

活動内容

年3回の花の植付けと年間を通しての水やりをしています。「公園の花」に心を一つにして頑張っています。



杉並区立和泉中学校野球部有志といずみ花咲かせ隊有志

活動目的

和泉中学校周辺と神田川沿い、屋敷林の落ち葉での腐葉土づくりをします。

活動内容

学校の空き地を利用し、有志で集まった生徒と教員、花咲かせ隊と一緒に落ち葉を集め1年かけて腐葉土をつくり、校内プランターに利用したり、地域に配布したりしています。落ち葉の回収、積み込み、天地返しをしています。



花咲かせ隊 フレンド

活動目的

近隣とのコミュニケーションと公園の清掃をします。

活動内容

玉川上水第二公園に咲く草花の手入れ、草むしり、枝切り等をしています。また、花の植替え以外にも清掃等をしています。



桃園遊水池公園育て組

活動目的

阿佐谷けやき公園の花木やカエルなど、自然に親しみ、自然回復を試みます。地域の美化と環境づくりに役立っています。

活動内容

落ち葉で堆肥づくりをして花壇に活用しています。清掃や水やり、樹木の刈込・剪定をして、緑の勉強をしています。平均週2回活動しています。



特集

みどりのイベント2015

～みどりに親しみ、みどりと遊び、みどりについて考える～

身近にある「みどり」をテーマに、遊びを通してみどりについて考えてもらう「みどりのイベント2015」を5月16日(土)に柏の宮公園(浜田山2-5-1)で開催し、今年も延べ1200人の人達に参加していただきました。

今回のイベントでは、多くの皆さんから推薦いただきました杉並区みどりの顕彰「みどりの活動賞」の表彰式を併せて行いました。

今回も地域でみどりに関する活動をしているボランティア団体をはじめ、区内の造園業者有志、杉並区(茶道部有志、

みどり公園課)など、みどりと関係する企画を実施することができました。

また、今年も参加してくれた高井戸中学校の生徒達は、自分たちの展示パネルを説明するだけでなく、逆に出展しているボランティアの方達に色々なことを教えてもらったりと、様々な企画に参加された子どもや大人たちが、身近なみどりと触れ合い、学び、そして楽しみながら交流も深めた一日となりました。



毎年恒例のシロロの葉っぱ工作



竹を切って、使って、一緒に遊ぼう



身近な生きものを観察しよう



大人気のツリークライミング



輪切りに絵を描こう!



高井戸中自然科学研究部の生徒達による三井の森公園の活動紹介



「みどりの活動賞」表彰式

みどりの窓

てきがいそう (仮称) 荻外荘公園の南側部分を 暫定開放しました

3月14日に(仮称)荻外荘公園(荻窪2-43)の一部を暫定開放しました。今回は、近衛文麿(元首相)邸があった敷地のうち、建物のない南側部分(約2,300㎡)を先行して開放しています。



今後は地域の方々と一緒に、豊かなみどりを保全するとともに、区民の皆さんに親しまれる公園として整備していきます。

開放時間は、午前9時～午後5時です。近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

みどりの相談所の先生が変わりました



もりたし 森正先生

4月から土曜日のみどりの相談所の先生が、以前にもご活躍いただいていた森先生に変わりました。

みどりの相談所では、毎週土・日、二人の先生が交替で草木の手入れや育て方など、みどりに関する相談に対応しています。何か質問や疑問がありましたら、塚山公園にあるみどりの相談所へお問合せください。(最終頁参照)

10年以上の長い間、みどりに関する相談やご指導をいただきました澤地先生、どうもありがとうございました。

みどりの相談所の先生に聞く

園芸ワ・ポイント

指導：南澤乙亥先生

みどりに関する相談は
塚山公園みどりの相談所

☎03-3302-9387

〒166-8570 杉並区下高井戸5-23-12

毎週土・日曜日 午前9時～午後4時30分

休所日・年末年始(12/29～1/3)



球根類の花後の管理と植付け

球根とは、地中にある葉、茎、根が不定形に肥大して栄養分の貯蔵部をもつ植物です。

雨季が短く、乾季が長い地域を原産とする植物が多いです。

今回はそんな球根類の代表的なチューリップとスイセンの花後の管理と植付けの仕方をご紹介します。

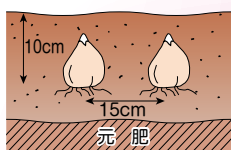
チューリップ (ユリ科)



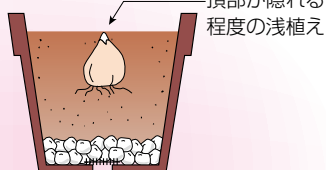
掘り上げは葉が黄変したら行います。土を洗い取り、日陰干しをしてから網袋に入れて、植付けまで保存します。

植付けは10月が適期ですが、花だけ見られればよいのであれば12月まで植えられます。ただし、新しくできた球根の肥大は良くありません。親球以外の小球は肥培すれば次年に親球になります。

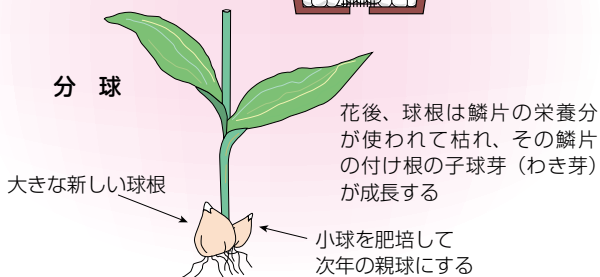
地植え



鉢植え



分球



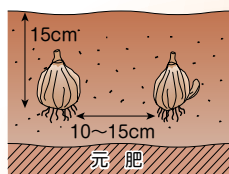
スイセン (ヒガンバナ科)



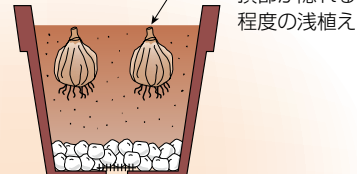
2～3年に一度、葉が黄変し枯れたら掘り上げます。日陰で乾燥させ、土、枯れ葉を取り除き、大きい側球を分けます。まだ小さい側球はつけたままにし、次年に分球します。

房咲き種は8月下旬、その他の種類は9～10月中旬までに植付けます。

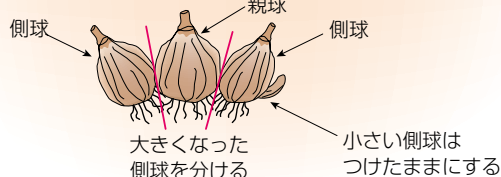
地植え



鉢植え



分球



◆球根類の肥料

肥料は、植付けの時には元肥、2～3月頃に芽出し肥として与えます。また花後に花ガラを切り取り、葉の元気うちにお礼肥として化成肥料(N・P・K等量)を施します。

鉢植えは、緩効性化成肥料を培養土1ℓに2gを混ぜて植付け、追肥は液肥を施します。



編集後記 「みどりとひと」はみどりのボランティアと協働で編集しています。

- オランダミナグサ、オニタビラコ…今まで無造作に抜いて捨てていた草々も名前を知ればなんだか愛着がわきます。知って大事なことです。(朋)
- 「新緑の 初取材や 風やさし」(啓)
- この時期、いつもの散歩道で改めて感じるのが、路傍に咲く野草の種類が数日ごとに入れ替わること。おかげで歩く速度がつつい遅く…。(羽)
- 天候のせいでしょうか、春からずっと花が咲くのが早まっているようです。キョウチクトウがもう咲いていて驚いています。(山)
- 植物がグングン大きくなる時期ですね。花や野菜の種をまいたり、苗を植えたり、楽しみに育てています。(原)
- ノボロギク 春 あちらこちらに咲いていますね。名前がわかって良かったです。(水)
- 「まなびやに 色と香りの 藤ゆたか 静かにたたずむ 紫緑の瀑布」(石)
- 藤棚ではなく、フェンスに絡まって登るような花の見事な様子はスゴイ!! (三)



みどりの新聞 みどりとひと164号 平成27年7月20日発行

編集／みどりのボランティア

編集・発行／杉並区都市整備部みどり公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111

「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

